

## 4 その他の事業

### (1) 牛肉の放射性物質検査

平成 23 年 8 月 2 日、栃木県産の牛肉で福島第一原子力発電所事故に起因する放射性物質汚染が確認されたことを受け、肉用牛の出荷が制限された。このため、県産牛肉の安全性を確保し消費者の信頼を回復するため、県内のと畜場でと畜されたもののうち、主に栃木県内で飼養されていたものについて、牛肉の放射性物質検査を実施した。

検査項目	検体数	検査結果
放射性セシウム	7,370 (うち県産 6,605)	全頭基準値以下

### (2) 種畜検査

適正な家畜の改良・増殖を促進するため、家畜改良増殖法に基づき、管内で飼養される種雄畜について、繁殖障害、伝染性疾病及び遺伝性疾患の有無等について検査を実施した。

市町名	種畜	頭数
日光市	黒毛和種	1
市貝町	黒毛和種	1
高根沢町	馬	3

### (3) 牛受精卵移植技術指導

高能力牛の高率的な増産により経営の向上及び改良を推進するため、受精卵移植技術の普及を図ることとし、獣医師、家畜人工授精師(移植師)との連携のもと、採卵、移植、凍結等の技術指導を実施した。

実施回数	農家戸数	採卵頭数	総取扱胚数	凍結胚数
27	10	33	288	155

### (4) 診療施設立入調査・指導

管内の飼養動物診療施設に対し、獣医療の適正確保を目的に獣医師法、獣医療法及び薬事法(旧称)に基づき立入調査を実施した。

診療施設数	調査件数	指導内容
144	24	診療施設・診療簿・毒物劇物保管等

### (5) 家畜人工授精師等立入調査

管内の家畜人工授精所及び家畜人工授精師に対し、家畜人工授精業務の適正な運用を確保すること目的に家畜改良増殖法に基づき立入調査を実施した。

区分	調査対象数	調査件数	指導内容
家畜人工授精所	7	1	設備・器具整備状況等
家畜人工授精師	95	16	授精記録簿・保管等

### (6) 家畜衛生の啓発、情報の提供

#### ア 講習会、研修会の開催

食品の安全性を確保するとともに、飼養規模の拡大や流通の広域化等に伴い多様化する諸問題に的確に対応し、健全な畜産の振興に資するため、獣医師、家畜人工授精師、市町、関係団体及び家保等の職員を対象とした講習会、研修会を開催した。

開催時期	講習・研修内容	講師
H26.6.13	飼料中放射性セシウムの牛体への移行と牛肉中濃度の推定について	栃木県畜産酪農研究センター 芳賀分場 特別研究員 櫻井 由美 先生
H26.11.21	牛の白血病について	日本大学 生物資源科学部 獣医学科教授 泉對 博 先生

#### イ 家畜衛生情報の提供

監視伝染病の発生時に「伝染病発生情報」として、関係機関、獣医師、畜産農家等へ情報を提供し注意を喚起した（発送回数 36 回）。

### (7) 血中ビタミン依頼検査

管内肥育牛農家からの生産性向上を目的とした血中ビタミン検査依頼に基づき、ビタミンA及びE、カロチンの3項目について測定を行った。

検査項目	依頼件数	依頼検体数(延べ)
ビタミンA及びE、カロチン	9	115